

授業科目名・形態	病態治療学 I (呼吸器) 演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名		実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題と目標】

国家試験合格に必須の知識はもちろん、合格後、第一線の臨床に出た際に応用可能な知識・考え方の基礎を身に付ける。

【到達目標】

1. 解剖、呼吸のしくみを理解すること。
2. 多彩な呼吸器症状とその原因を理解すること。
3. 各種呼吸器疾患と症状、そのケアについて理解すること。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 総論
解剖、生理、症状、身体所見
呼吸器画像診断、呼吸機能診断、その他の呼吸器関連検査
- 第 2 回 各論-1
COPD、気管支喘息、肺塞栓症、ARDS
- 第 3 回 各論-2
肺炎、間質性肺炎、肺結核
- 第 4 回 各論-3
肺腫瘍、気胸、過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

授業回数に対して講義範囲が大変広いです。一回の講義では理解が難しいと思います。教科書を中心に講義を行いますので、教科書の該当部位を事前に一読するようにしてください。

【主な関連する科目】

成人看護方法論 I・II・III

【教科書等】

系統看護学講座 専門分野 II 成人看護学〔2〕呼吸器 (医学書院)

【参考文献】

特になし

【成績評価方法】

- 以下 1、2 で総合的に評価します。
1. 筆記試験(多肢選択問題および筆記問題) 90%
 2. 授業態度 10%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

内科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

【学生へのメッセージ】

現場で良きパートナーとなれる日を楽しみにしています。